

瓦礫から発生する臭気対策

被災地においては、食品、家電、建材、その他産業系廃棄物および海水等が混合し市中に散逸しております。この瓦礫の撤去時には、食物また生物の腐敗等により相当量の悪臭が発生しております。この撤去作業は長期間かかると見られ、時間の経過と共に臭気発生量がさらに多くなると予測されます。とりわけ、夏季、高温期を迎えることにより臭気を発生させる雑菌の繁殖は顕著となり、**更なる悪臭を発生させ**住民の生活環境を悪化させることが懸念されます。また、瓦礫の撤去後の集積地においても悪臭は発生し続け、近隣への影響も懸念されます。

以下、瓦礫撤去時の臭気対策を『瓦礫撤去時』『集積場』『集積場からの移動時』3ステージに分け、各々臭気対策を設定させていただきます。

1. 瓦礫から発生する臭気について

● 対象物

生ごみ 食品残渣（肉、魚、野菜、炭水化物 油脂）等の混合物
腐敗物、汚れ等の臭気発生原因になる **臭気発生源**

建設資材、木材、セメント、鉄骨由来の瓦礫

材自体は臭気を発生しないが、材表面に臭気発生源が付着し臭気発生源の表面積が増えることにより臭気の発生を助長する。

● 臭気の特徴

- ・ 様々な臭気発生源により多種多様の臭気を発生する（複合臭）。
- ・ 腐敗（生物による分解）による臭気の発生が主要因になる。
- ・ 高温多湿により臭気の発生は増大する。
- ・ 海水、水産物が含まれる場合、臭気はさらに増大する。
- ・ 長期の放置により高濃度の硫化水素の発生の可能性がある。この場合別途の対策が必要。

● 臭気対策のポイント

- ・ 臭気発生源が広範囲に渡るため、大規模、迅速に臭気を抑えること。
- ・ 臭気発生場所が市中に散逸しているため、移動可能な対策であること。
- ・ 臭気の大小、また発生ポイントに集中的に対応できること。
- ・ 付着した臭気発生源（物）を除去出来ること。

以上のポイントより消臭剤の移動式散布装置による対応が望ましい。

- ・ また、継続的な消臭剤の散布により、さらに臭気を低減させることが必要

● 薬剤の要求性能

- ・ 悪臭隠蔽性能
- ・ 除菌性能（更なる悪臭を発生させない）
- ・ 洗浄性能（油脂を溶解除去する）
- ・ 安全性能（安心性能）

2. 各ステージの臭気対策

ステージ1. 瓦礫の撤去時

対象場所：市中の瓦礫、撤去現場

使用法：移動式の薬剤散布装置により薬剤を希釈散布する

原液を水で 30～50 倍に希釈し悪臭発生物質の表面積 1m² 当り、希釈液を 100～300ml 散布してください。

選定薬剤：『強力無臭元液 890』

薬剤の特徴：除菌、洗浄効果を有する消臭剤

※ 詳細は使用説明書及び MSDS を参照ください。



ステージ2. 集積所

対象場所：瓦礫集積所、仮置き場

使用法：移動式の薬剤散布装置により薬剤を希釈散布する

原液を水で 30～50 倍に希釈し悪臭発生物質の表面積 1m² 当り、希釈液を 100～300ml 散布してください。

選定薬剤：『強力無臭元液 890』

薬剤の特徴：除菌、洗浄効果を有する消臭剤

※ 詳細は使用説明書及び MSDS を参照ください。



ステージ3. 集積所からの廃棄物移動時

対象場所：瓦礫集積所、仮置き場
長期間保管後の瓦礫掘り返し時、又、
移動させる工程時。油臭が強い

使用法：移動式の薬剤散布装置により薬剤を希釈散布する

原液を水で 30～50 倍に希釈し悪臭発生物質の表面積 1m² 当り、希釈液を 100～300ml 散布してください。

選定薬剤：『無臭元 F196-HQ』

薬剤の特徴：油臭の隠蔽正に特に優れた消臭剤

※ 詳細は使用説明書及び MSDS を参照ください。



実際の使用法のご検討また薬剤設定につきましては、弊社にて対応させていただきます。